

「淀川水系河川整備計画」に関する「淀川水系流域委員会」への意見・提案等

名前 又は 団体名 (団体の場合は代表者名も記入下さい)	黒田区長 山崎 清司
(ご意見・ご提案等)	
<p>私たちの生活している名張市黒田区は、淀川水系の上流に当たる木津川の上流域にある名張川と宇陀川の合流地点の左岸にあります。</p> <p>この黒田区は、昭和 34 年 9 月の伊勢湾台風の時、宇陀川の堤防が決壊して洪水が押し寄せ、2 人の尊い人命を失い、11 戸の家屋が流出し、田畑は土砂で埋まり、木材や石などが散乱する甚大な被害を受けました。</p> <p>現在、名張川では新町や鍛冶町及び夏見方面での河川改修が行われていますが、対岸の私たちの黒田地区では未だ改修が行われておらず、しかも、名張大橋から下流の左岸は堤防が全く造られておらずに小竹ないし笹が生えている河川敷のままで放置されているので雨が 4~5 日降り続くとひたひたと浸水して来るか、排水溝へ水が逆流して水田の一部が冠水するという現状です。名張川流域で唯一の堤防がない地域ですので黒田区民の不安は長雨のたびに募ります。そして先の台風の悪夢が蘇ります。このため、私たちの不安解消、即ち、住民の生命と財産を守るための一刻も早い現場踏査と河川改修を心からお願い申し上げます。</p>	

「淀川水系河川整備計画」に関する「淀川水系流域委員会」への意見・提案等

名前 又は 団体名 (団体の場合は代表者名も記入下さい)	瀬古口区長 籠井 紹
(ご意見・ご提案等)	
<p>(1) 三ヶ村井堰水利組合の水路を利用し、農業用水は勿論、特に瀬古口地区の場合、防火用水として緊急時の消化活動にかかすことの出来ない水源でもある。又多くの家庭の浄化槽の排水路として活用されているが、水路の形態は下流側程狭いので、大雨や台風時には排水がうまくさばけず、水路から水があふれ、床下浸水の家屋も時折発生しているのが現状である。今後は排水の機能も一層充実した水路への改修が望まれる。</p> <p>県の予算が、宮川水系の河川と比較して、木津川水系の予算が少ないといったことも聞き及んでいます。</p> <p>河川の改修や整備にあたっては、本流のみではなく、本流に流入する支流水路についても、ご検討を賜われればと存じます。</p>	
<p>(2) 青蓮寺川の河川改修を青蓮寺ダムのところまで延長して行って頂きたいと考えております。</p> <p>三ヶ村水利組合の水路は、主として農家が維持・管理をしていますが、必ずしも農家だけが水路の受益者という訳でもありません。水路の維持・管理についても、積極的なご検討を賜りたく存じます。</p>	
<p>(3) 瀬古口地区と名張市との間には、昭和 51 年 6 月 10 日締結された「名張川河川改修に関する覚書」が存在します。</p> <p>その第 5 条では、「左岸近鉄と橋から新町橋間の計画標準断面及び堤防の高さ等については、特殊提第 6 案を原案として、瀬古口住民と話し合いを続行し、住民参加の上、実施計画をするものとする」と定められておりますので、この覚書の遵守を賜りたく存じます。</p>	